美篶の里

2019年12月6日
伊那市立美篶小学校
学校だより
No.07

開校118周年記念式典特集

明治34年，現在の地に校舎が建てられ美篶尋常高等学校と改称されました。翌年，明治35年12月1日に開校の式典が挙行されました。この日以来，開校記念式典は休むことなく続けられてきました。本年度も，11月29日に118周年を祝う開校記念式典行事を行いました。式典には，平日開催にもかかわらず多くの方にご臨席いただきました。子どもたちは，自分たちの学校が美篶地区の人たちから愛され大切にされてきたことに思いを馳せ，伝統ある校風の継承発展に寄与する気持ちを高めながら，地域の人たちと一緒にお祝いをしました。

今日は美篶小学校の開校118周年記念日です。来賓の皆様，地域の皆様，本日はありがとうございます。118年の歴史は想像できないくらい長いものです。明治，大正，昭和，平成，令和と5つの時代を乗り越えてきました。今日までの美篶小学校の歴史は地域の皆さんをはじめ，私たちのおじいさんおばあさん，そして父さんや母さんたちが築き上げてくれたものです。6年1組の老人ホームの訪問では，昨年作ってもらった資料館かるたを使って交流して楽しみました。このように，私たちが毎日明るく楽しい学校生活を送ることができるのは，118年という歴史をつくってきてくれた先輩の皆さんのおかげだと思います。長い歴史をもつ美篶小学校に入学して毎日を過ごせる私たちは本当に幸せだと思います。感謝の気持ちを絶対に忘れてはいけません。今日から美篶小学校の歴史をつくるのは私たちです。118年の歴史をくれた皆さんの努力を受け継ぎ素晴らしい美篶小学校をつくりましょう。今日は，いろいろな体験をさせてもらいながら美篶小学校の118歳の誕生日をお祝いしましょう。

（児童会長　○○　○○さん）

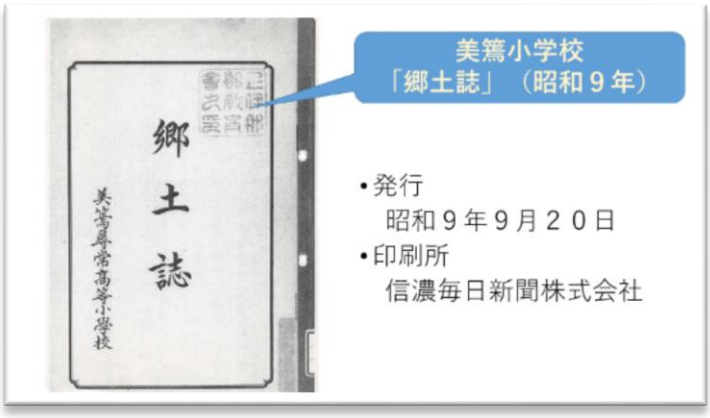
学校長式辞　～郷土誌と受け継がれていく学び～

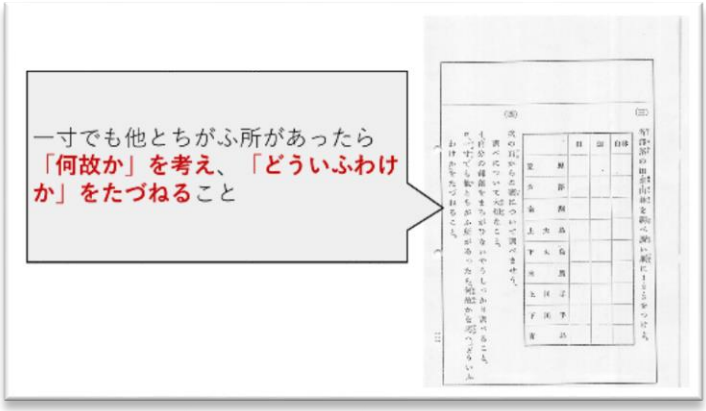
美篶小学校が明治34年に開校して，今年で118年となります。長い歴史と伝統ある美篶小学校がこの日を迎えられるのは，児童の皆さんの頑張りはもちろんのこと，本日，お越しいただきましたご来賓の皆様をはじめ，保護者，地域の皆様のお支え，本校への期待と愛情の賜物と感謝申し上げます。この開校記念式典は，今から117年前の明治35年12月1日に，天皇皇后両陛下のご真影をまつり，第1回の開校式を行ったことに始まります。この資料は，昨年も出しましたが，美篶の学校のはじまりについて，この学校で勉強する6年間のうちに，おおよそ知っておいてもらいたいと思い，出しました。明治6年に美篶に5つの学校ができたことが，美篶の学校の始まりです。その後，明治34年の美篶尋常高等小学校の誕生から数えて，今年が118歳ということになります。学校の名前が変わったり，伊那市と一緒になったりして，今の美篶小学校へとつながってきています。ちなみに「尋常高等」というのは，尋常科と高等科という2つの科が一つの学校の中にあったということです。さて，一昨年は美篶小学校の成り立ちについてお話する中で，長い時間をかけて話し合い，一つの学校ができたように，私たちも学級や学年，全校で，友達のことについてじっくり話し合い，思いやり，楽しく仲良く生活を送れる学校にしていくことが大切であることを話しました。昨年は，給食調理場の改築にちなんで，味噌汁給食や給食室のお話をさせていただきました。

今年は，青島の矢島信之さんが，美篶小学校の郷土誌という本があると教えていただき，コピーをいただきましたので，昭和のはじめ頃の学習の様子をお話したいと用意いたしました。これが，郷土誌のコピーです。少し拡大コピーをしてありますので，実物はこれよりもちょっと小さ目になります。昭和9年9月20日発行と記されています。今から85年前です。美篶尋常高等小学校は，さきほど名前が出ていましたね。では，郷土誌とはどういうものでしょう。これは，4年生以上のみなさんが，社会科などで使っている資料集ですね。美篶や伊那市の学習をする際に，いろいろな情報がつまっているものです。今の郷土誌とも言えます。では，昭和9年の中身はどうでしょう。

美篶小学校にも現物がないかなと探してみたら，これです。昭和８年発行の郷土誌が見つかりました。最後のページの記名枠に「昭和８年度」とあるので，昭和８年度発行と言ってよいと思います。中には目次もあり，「私どもの学校」，「私の家」，「学校と家」，「私どもの村」，「私どもの郡」，「私達の県」となっています。この「村，郡，県」と学習が広がっていくのは，今の社会の学習と同じですね。もう少し８年版の郷土誌を見てみます。印刷は，すべて手書き，ガリ版刷りです。ガリ版刷りというのは，ロウでできた紙に，鉄のペンで削るようにして原稿をつくるものです。お父さんお母さん世代でも使っていません。おじいちゃんおばあちゃん世代だとわかってもらえるものです。とても時間がかかり，書くのも難しいものでした。右のページには生徒数や家の向き，仕事など数を調べています。郷土誌の学習は５年間使用する教材となっています。このページには，村役場の仕事，村長，助役，収入役，村会議員など調べたことをメモできるように項目が書かれています。左には，「村で力を入れている事」として，番号がついているのですが，１番目に小学校となっています。美篶の村の皆さんが，いかに学校を大切にしてきたかがわかります。これは，郷土誌の中にある地図の一部ですが，美篶がどこらへんか分かりますか。当時は，伊那市ではなく伊那町。美篶も「美篶村」でした。次は，昭和９年の郷土誌を見てみましょう。昭和９年の郷土誌は活字印刷となっています。昭和９年３月に校章が制定されましたので，昭和８年には載っていない校章，当時は徽章（きしょう）といっていますが，その由来が書かれています。学習の内容をお話します。全体が調べ学習です。はじめには自分の家の屋号，紋所，「母屋の平面図」「家の建物の見取り図」といったものまであります。当時，この郷土誌をつかって勉強したという戸田貞江さんから直接お話を聞くことができました。戸田さんは，学校から家までの距離を巻き尺で測ったり，グループで，一軒一軒聴き取り調査を行ったりしたとのことです。この表ですが，これが数ページにわたってあります。どんなことを調べたのか，次の表を見てみましょう。各部落の戸数，男女別人口，一戸あたりの人口，母屋の調査，土蔵や水車，井戸の有無，自転車やリヤカーの数，牛や馬，犬，豚，山羊，鶏，うさぎ，猫の数まで調査することになっています。さらにスガレの巣，ミツバチの巣，アヒル，鯉を飼う家の調査まで入っています。さらに，尋常科１年から高等科２年，計８年の男女別部落別人数，実業補習生，高遠補習生，伊那町補習生，伊那中学生，農学校生，伊那女学生の数も調べています。産業では，農業，養蚕業を行っている家の数をはじめ柿，ブドウ，桃，梨，梅を栽培している家の数や左官，大工，石工，畳，屋根屋，商店，菓子屋，たばこや，酒屋，製材所，精米所，竹細工，ラジオのある家まで調査しています。こんなに詳細な調査は今，できそうですか。すごい調べ学習です。この他にも，三峰川堤防の面積，気候に関すること，年内出生数や死亡数，産業，交通，政（まつりごと），神社や仏閣，人物などの郷土の学習ができるようになっています。さらに，郡や県のことを学習するページへとつながっていきます。ここで，とても大事だな，今の学習でも大事にしなければならないことが書かれていましたので紹介します。なんと書いてあるかというと，「ちょっとでも他とちがう所があったら「何故か」を考え，「どうわけか」をたずねること」とあります。皆さんも，グループで学習したり，友達に聞いたりして学習しています。友達の考えに触れて，新しい考えを生み出していくことがとても大切です。この学習は今でも大事ですね。これは，今の学習です。この間は，たくさんの教室で電子黒板やタブレットを使った授業を見てもらいましたね。この学習でも大切なことは，今日，何を勉強するのかという目的やめあてをしっかりと持って，友達と考えたり，意見を出し合ったりして，問題を解決していくことです。

　これからの美篶小学校の学習がさらに磨かれていくことを願って，校長先生のお話とします。





資料館運営委員会・地域の皆さんによる
昔の人の知恵と工夫を感じる体験学習

開校記念日には，資料館にある道具を使った体験学習を行うのが恒例となっています。今年度も，運営委員の皆さん 12 名をはじめとして，縄ない講師の皆さん 4 名，篶竹細工 6 名，舞ぎり（火おこし）1 名，資料館見学 1 名，機織り 2 名，縄文時代の丸太加工（特別講師：雨宮国広さん）と本当に大勢の皆さんにお世話になりました。早朝 4 時から味噌用の大豆を薪火で煮始めていただき，ご準備いただきました。機織りや，木のお風呂，味噌作りや鍛冶の古い道具を見ることさえ，珍しくなってきましたが，それらを実際に動かして，触れることができる貴重な体験をすることができました。美篶小学校ならではの体験です。1 年生は初めての体験でしたが，生まれて初めて見た道具が多かったのではないでしょうか。体験の様子を紹介します。

縄ない体験（4年生）

4 年生は縄ない体験です。はじめはなかなかうまく藁をよることができなかった子どもたちですが，講師の方の励ましにも助けられて，みるみるコツをつかみ，縄跳びが出きるくらい長い縄をなうことができました。

縄ないは，最初難しいのかなと思っていたけれど，縄ないの先生がこうやってやるんだよと教えてくれたのでできました。最初は短かったけれど，慣れてきてやりやすくなって長い縄をつくることができたのでうれしかったです。家でも上手に作れました。

4 年　○○　○○さん

開校記念式典の日に縄ないの体験をさせてもらいました。最初は難しかったけれど、縄ないの先生方が「こんな感じでやるんだよ」と優しく教えてくださったので上手に作ることができました。家族に教えると「すごいね」と言われてうれしかったです。　4 年　○○　○○さん

舞ぎり式発火法体験（5年生）

5 年生は道具を使った火おこし体験です。火がなければ調理ができません。大昔の人々の炎に対する思いを考えながら挑戦していました。ブンブンゴマの要領でリズミカルに回転させることに気づいた子どもたちは何とかして種火をつけようと試行錯誤しながら取り組みました。

今年は火おこしをやりました。火おこしは 1 回もやったことがなくて，昔の人はどのような生活をしていたのかを考えながらやりました。私が実際にやってみて思ったことは，リズムよくやらなければいけないということです。止まったりするとできなくなってしまうので，同じように続けなければいけないのだと思いました。昔の人は毎回火おこしをやって火をつけなければならなかったと知って，大変だったんだなと思いました。火おこしの貴重な体験ができてよかったです。

5 年　○○　○○さん

篶竹細工体験 ・ 縄文時代の丸太加工体験（6年生）

6 年生は篶竹細工と縄文時代の丸太加工体験です。伝統工芸の篶竹細工では，講師の皆さんから手ほどきを受けながら，細い竹を交互に編む体験を通して，様々な形や大きさに自在に編み上げる技術の高さに驚いていました。「私は地道な作業が好きだから，将来，こういう手仕事をしたい」とつぶやいている子もいました。新しい感性を取り込んで，新しい伝統文化が生まれるかもしれませんね。

雨宮さんから昔の人たちがどんなふうに考えてどんなことをしたのかなど，お話を聞きました。「人間と他の動物，植物，その他全ての命と仲良く分かち合って暮らせるか」なんて考えたことなんて一回もありませんでした。よく考えてみれば，人間がいない方がよかったかもしれないなんていう考えまで出てきました。すごく考えなければいけないことだと感じました。

3,4 時間目にすず竹細工体験をしました。すず竹細工は昔からあったそうで，伝統の編み方まであるそうです。僕が，竹細工をやってみて思ったことは，とても根気のいる作業だということです。同じ事の繰り返しだったのであまりおもしろそうに見えませんでしたし，簡単そうでした。でも，やってみると難しくて面白かったのですが，やっぱり根気のいる仕事だと感じました。とても良い体験ができました。

6 年　○○　○○さん

私の心に残ったのは，雨宮さんのお話です。石斧，鉄斧，チェーンソーで木を切るそれぞれの感じを見ると，石斧は恐怖心は無いし，木を切る音が落ち着くような軽く柔らかい音でしたが，チェーンソーはとても音が大きく，一目見たとき，「怖い」と思いました。使っているのはガソリンなので，もちろん臭いし早く切れるけれど，やっぱり機械という感じがしました。前に国語で学習した「イーハトーブの夢」で書いてあったように，今の人は「何でも速く，合理的に進む方が良い」と思っているので，機械化はどんどん進んでいますが，その結果，人がどんどん機械ばかりに頼って生きているし，地球の環境も悪くなっていると思いました。工業の文明は発達していても，その先を考える力が弱く，視野は狭くなってしまっているのでは？と正直思いました。雨宮さんが言ったように，自分も地球に住む人も，今は地球についてもっと考えた方がいいなと思いました。色々と深く考えさせられたし，とても勉強になりました。　　6年　○○　○○さん

今年7月に国立科学博物館のチームが，日本人の祖先がどのように海を越えてきたのかを探るため，丸木舟で台湾から沖縄県与那国島を航海し成功しましたが，雨宮さんはその丸木舟を石斧でつくりあげた方です。石斧の体験だけではなく，宇宙船地球号に住む者として，持続可能な社会をつくっていくために，子どもたちへ「人のために…」ではなく「地球のためにできることをする」大切さを話してくださいました。雨宮さんの大工としての技術に驚いた子どもたちですが，同時に雨宮さんの生き方や人間性に圧倒されて，大きな刺激を受けた体験となりました。

モロコシもぎ

不思議な機械だなあ・・・

鶏えさやり

にわとりって温かいね…

手押しポンプ

水が上にあがっていく！

石臼できな粉づくり

おもいなあ…

薪風呂

なぜお風呂は燃えないの？

味噌づくり

豆をつぶすのは大変な仕事だな

資料館考古室

ぼくたちのご先祖が使ってたの？

機織り

少しづつ布ができていくよ

今日の体験で，昔の学校で機織をしました。少し難しかったけれど「上手だね」と言われてうれしかったです。それと，ポンプもやりました。下から見たら，水がちゃんと出てきました。上でポンプを動かすときは大変でした。石臼もやりました。石臼は重くて大変でした。でも，体験して私がつぶしたきな粉は甘くておいしかったです。トウモロコシは，回すところを回すと右のところからトウモロコシが出てきます。トウモロコシは赤い色でした。その後，ニワトリにえさをやりました。全部楽しかったです。最初にやったカルタもおもしろかったです。昔のものをかいたカルタなのでいろいろなことがわかってお友だちともなかよくできました。　　2年　○○　○○さん

きょうは　かい校きねんしきてんです。たのしかったことは　いどで　みずをだすことです。ちょっとだけ　おもかったけれど　たのしかったです。こんどは　みずをいっぱいだしたいです。

1年　○○　○○さん

どの体験コーナーも，子どもたちが真剣に，そして楽しそうに取り組んでいました。5年生は12月20日に縄ないの講師の皆さんからしめ縄づくりを習います。式典や体験学習を通じて，子どもと地域の方のつながりが深まっていくようで，素敵な時間となりました。子どもたちのために力を尽くしてくださる地域の方々に心より感謝いたします。